

幸せはすぐそこにある

中泊町立中里中学校 三年 野上 理心

ある日、祖母の携帯電話の音が鳴りました。それは母からで、「救急車を呼ぶ」という内容でした。その時私は頭の中が真っ白になりました。母がいなくなったらどうしようというマイナスのことも考えていました。しばらく経つと母が帰ってきました。私は色々な感情が交がっていましたが、「大丈夫？」

そのように声を掛けました。すると母は、「さっ、きよりは良くなった。」と言わずした。その言葉で少し安心したのを覚えています。その後、母と沢山会話をしました。すると、私は一つ大事なことに気付きました。それは、「幸せはすぐそこにある」ということです。

私は今まで「幸せ」とは自分の願いが叶ったり、好きなことが出来たりと自分が特別得られるものと思っ、ていました。でもそれより

ももっと幸せなのは、母や家族と一緒にいることなんだと思います。今はあたり前のようにならなくていいけど、何かの原因で一緒にいられなくなる可能性があります。それが今世界中で染めている新型コロナウイルスです。感染してしまえば、今までの日常が奪われ、大切なものが一つずつ失われていきます。

新型コロナウイルスに感染し、苦しんだりしている人が沢山いる中で、私が平凡な毎日を送っていて、母、家族、友達と一緒にいられることは、今まで気付かなかっただけ、とても幸せなことだと思います。そして、幸せは私のすぐそこにあるんだと思います。

今ある幸せを大切に、毎日をもっと過ごしていきたいです。

最後になりますが、新型コロナウイルスでお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますと共に感染された方々に心よりお見舞い申し上げます。